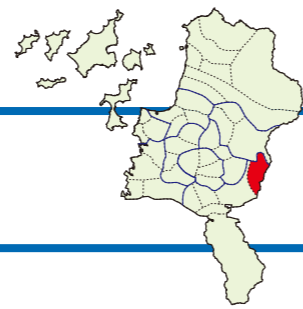


おの 小野地区

面積：26.5km²
人口：17,498人（高齢化率 29.9%）
世帯数：7,801世帯



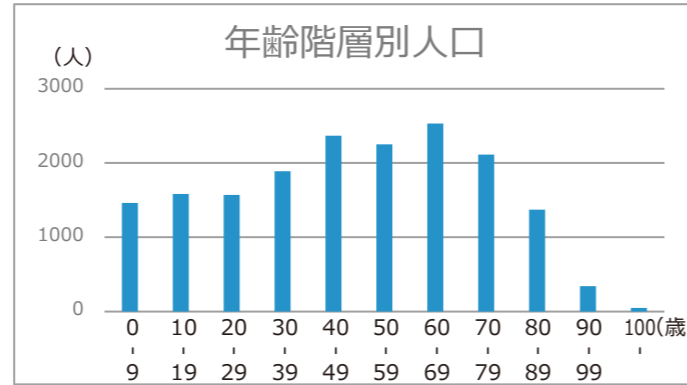
【地区の特色】

松山市の最東部に位置し、小野町、北梅本町、南梅本町、平井町、水泥町の5町から構成され、伊予鉄道横河原線沿線という好条件と病院や商業施設が備わった地域でありながら都会らしくもなく、そして程よい田園風景の残る地域で、近年急激に人口が増加している。

1公民館、1小学校、1中学校の地域性から住民同士の連帯感が強く、義理と人情がまだまだ残っている地域である。



小野地区の全景



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> ふれあいサロン小野（月～金の毎日型） ・ 公民館や小野支所などが社協に協力的 サロン農園があり、近所の人が協力的 ・ サロンに各団体が集まり人材確保が容易 自然豊か ・ 包括支援センターによる出張相談 小学校からそのままのメンバー（生徒）で中学校に上がる 地域全体で子どもの見守り、健全育成 ・ 子どもの挨拶が立派 犯罪が少ない ・ 災害が少ない ・ 地域の団結力 ・ スポーツに熱心 地域役員の連携が密 	<ul style="list-style-type: none"> サロン活動で若い人が少ない（協力会員も高齢化している） 小野サロンの立地が地区の中心ではない ・ 小野サロンの施設の劣化 道路、通学路が狭い ・ 高齢化率約 30% ・ 高齢者の交通不便 企業が少なく ・ 飲食店が少ない ・ 農業に従事する人が少ない バスの廃線（小野谷） ・ 災害の不安（山地部） スポーツ施設が少ない 行事のお世話人さんなど後継者不足 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化率が年々高くなっている 独居高齢者（特に男性高齢者）増加傾向 若い人、男性の福祉に対する関心が薄い 認知症の人が増えている ・ 自力で移動できない人の増加 若い女性は勤めに出ているため活動に参加できない ・ 入院できる病院が少ない 健康のため高齢者によるボランティア活動への参加促進 避難準備情報が出て行動しない人が多い ・ コミュニティバスの配備希望

小野地区社会福祉協議会

心響きあう♥与力の里

<拠点> 松山市水泥町 972-1

TEL / FAX : 089-976-1200

構成団体	地区民協・公民館・分館・PTA・中学校・小学校・学識経験者 身体障がい者協会・平井商店会・社会福祉法人
主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年に2回 12,000部を作成・全戸配布し、地域活動のPRや福祉に関する情報を発信しています。
福祉のつどい	毎年4月に福祉施設と合同でミニ運動会を開催します。会場の小学校の体育館には約300人の地域住民(サロン参加者・幼稚園児)が集まります。
福祉講座の開催	年1回、高齢者の身体や認知症など、生活に関する身近なテーマでの開催を目標として実施しています。

ふれあいサロン小野（月～金の週5回）

平井商店街の一角に地区社協の拠点でもある毎日型のふれあいサロン小野があります。常時、協力会員がおり、プロから講習を受けたコーヒーの提供や月曜日限定の手作りカレーの販売などもあり、地域住民が気軽に集える場となっています。介護予防体操や手芸、囲碁や将棋も楽しめます。



<地区社協が目指すもの>

小野地区では地域の住民が気軽に集える憩いの場を作ることが目的とし、平成16年に平井商店街の空き店舗を活用して地区社協の事務所とサロンを開設、平日（月～金）週5日運営を行っています。

「心響きあう♥与力の里」を基本理念に、地域の各種団体や施設等と連携しながら、地域住民が安心して住みよい、住んで良かったと感じる地域を目指し、今後の高齢社会に向け若い世代の活動拡大を目指します。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	24名 2名	■町内会・自治会・区長会等	21団体
	■まち協の設立	—	■高齢クラブ	5クラブ
		■子ども会	15団体	
		■自主防災組織	17組織	

毎日型のふれあいサロンは全国的にも模範的なサロンとなっています。サロンにおいて定期的な食事提供や参加者の趣味活動など多様な活動が継続しているのは、地区社協や協力会員の連携や意欲の高さによるものです。毎月1回行われる管理運営委員会では地区社協内の各部会の報告や情報共有、意見交換などが行われるなど、常に活動がブラッシュアップされています。他機関の役員を兼ねる参加者も多いことから、この会が他団体との連携に繋がるという特徴もあります。サロンをはじめ地域貢献活動は担い手の世代交代が全国的な課題となっています。本地区のこれからの取り組みによって世代交代の新しいモデルが生まれ、全国へ発信される日が来るかもしれません。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区
	中島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区
	立岩地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区
久谷地区	

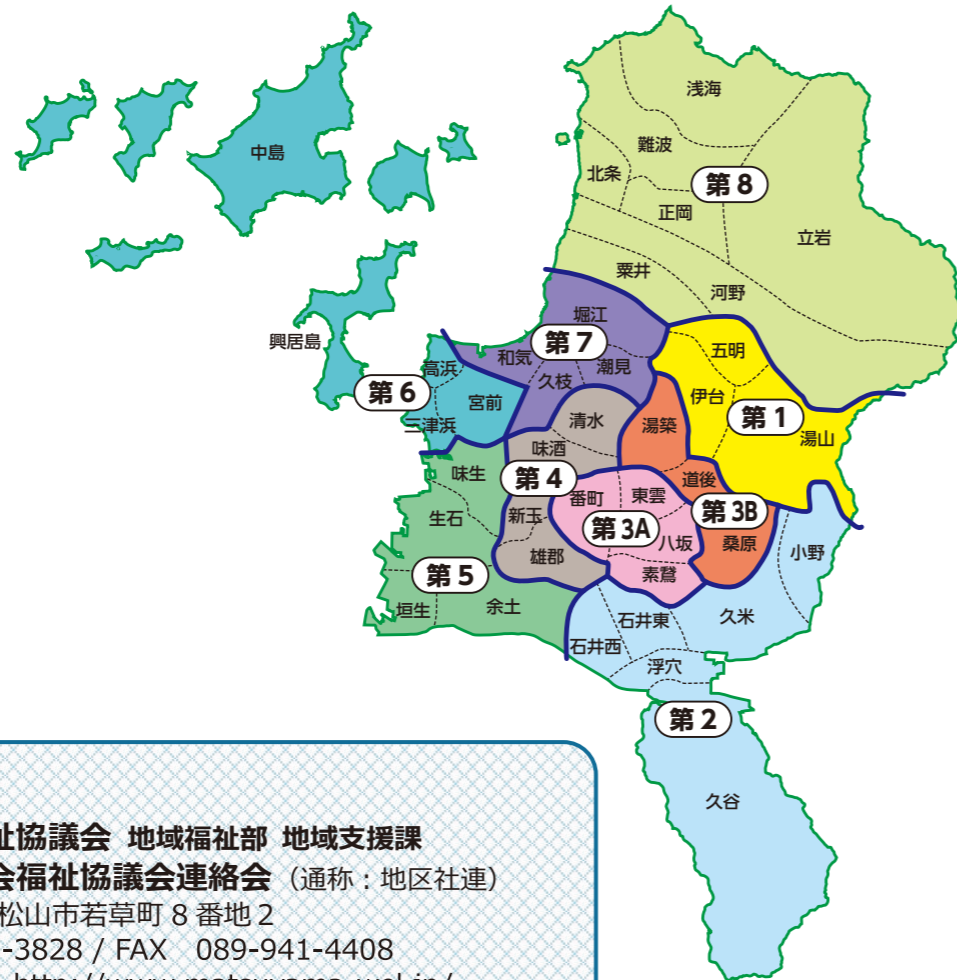
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏